

令和6年度「#あおばな in 青森東高校」開催概要

県内の高校生の皆さんに、知事との意見交換を通して県政を身近に感じてもらうとともに、新鮮な意見・発想や県政に対する期待等を把握し、開かれた県政の推進と今後の県政運営の参考にするため、県民対話集会「#あおばな～青森・未来・対話～」を下記のとおり開催しました。

○日時：令和6年10月22日（火）14：30～16：00

○場所：県立青森東高等学校 第一体育館

○参加学生：1年次、2年次 計478名

<生徒との意見交換>

代表生徒からの意見について知事と対話をしました。

- ①将来の夢や働く場所、働き方の選択について
- ②医師不足の解消について
- ③子育て世帯への支援について
- ④戦略的な企業誘致について
- ⑤教職員不足解消に資する取組や公務のDX化について
- ⑥外国人観光客の受入れ対策について

上記に係る意見交換の後、約20名の生徒が参加し、野球ボールを使ったゲームを実施して、対話の重要性について考えました。

※知事から生徒へのコメントの一部を紹介します。

- ・青森県も世界の一部で、青森を変えられたら、世界を変えられる。青森県で頑張っている人たちは、そういう感覚の人が多く。青森から出て世界で活躍することも良いが、青森県が世界の一部だということは、絶対に忘れないでほしい。
- ・これから、皆さんが歩むいろんな道には答えがない。でも見つけなければいけない。対話は、その答えを掴まえるきっかけになると思う。
- ・学校の友達や、家族を大切に、いろんな場面で対話を重ねて、自分の将来について考えてほしい。これからの人生が豊かになることを期待している。

